

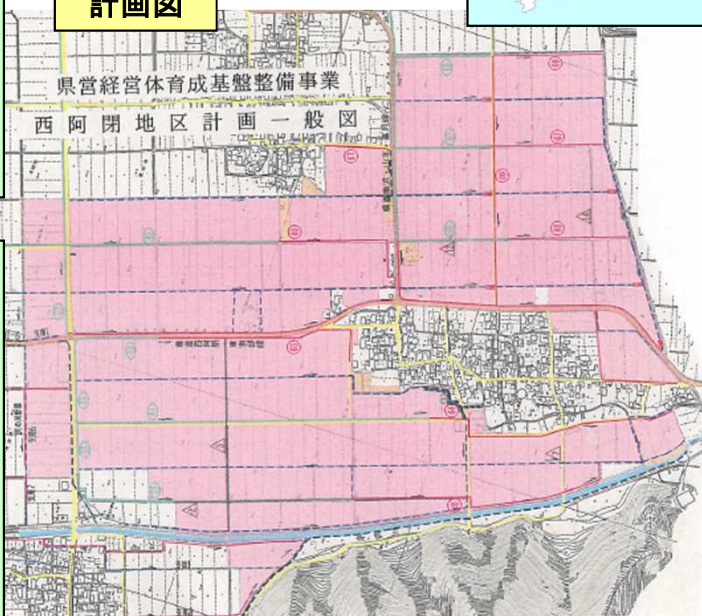
# 担い手育成基盤整備事業 にしあつじ 西阿閉地区

## 地区概要

所在地：長浜市  
 主要工事：用水路工 5.30km  
 排水路工 0.58km  
 道路工 1.21km  
 獣害防止柵 1.17km  
 総事業費：208百万円  
 工期：平成15年度  
 ～平成19年度



## 計画図



国土地理院の電子地形図を使用したもの

## 事業目的

比較的早期に区画整理を実施した地区であることから、用水路等施設の老朽化が著しく、用水路からの漏水などにより、水管理に支障を来していた。

このため、老朽化した施設を更新し、さらなる農地の集積を図るとともに、担い手による大規模経営によって、農業経営の安定化と、生産性の向上を図る。

## 事業効果

・老朽化した用排水路の整備が行われたことにより、水管理労力が軽減され、農業経営の安定化が図られている。

・農道舗装の痛みが激しかったが、再整備が行われたことにより、通作や農作物輸送も容易となり、営農コストの縮減につながっている。

・担い手への農地集積による大規模化により、大型機械の導入など農作業時間が短縮し、経営の効率化が図られている。

## 用水路・道路の整備状況



整備前



整備後

## 担い手による農地集積率の増加

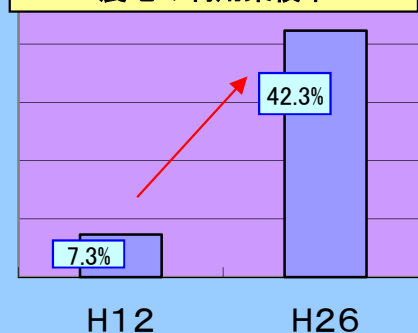
目標とした農地集積率32.9%(目標年度H24年度)より、さらに集積が進められている。

### 農地の利用集積率

(事業前 H12) (事業後 H26)  
 7.3% → 42.3%

〔聞き取り調査〕

## 農地の利用集積率



## 受益者等の意見

用排水路施設整備が行われたことで、作業軽減が図られ、生産性の向上が図られた。

## 今後の課題

近年の厳しい農業情勢の中、より一層の担い手への集積を図ることが必要である。